



100 Years of Knowledge.  
A Future Beyond, Together with you.

立正大学図書館  
開館100周年記念

Contents

- † Library History: Timeline
- † About Shinagawa Library
- † 100th Anniversary Event Guide

立正大学図書館パンフレット

# Library Time Journey

100年をめぐる旅のしおり



## 館長挨拶

### Message from the Director

立正大学図書館は、2026年4月に開館100周年を迎えました。1926年4月の開館から現在まで、社会の様々な出来事とともに、図書館の役割も変化し、本館もそれに伴って成長して参りました。2014年に開館した古書資料館における独自の取り組みは、IFLA（国際図書館連盟）でも高い評価をいただいています。来館者への情報提供はもとより、公開講座、地域連携にも積極的に取り組んでいます。

書物関連業界における大きな変化にはITの進展があります。書物による情報は紙という媒体のみではなく、電子書籍として流通するようになり、私たちはデータベース化された知識をAIによって瞬時に手に入れることが出来るようになりました。しかし、データベース化の前には、原典となる情報源が必要であり、またその信憑性を担保する必要があります。図書館は、新時代におけるそのような役割も担います。原典の重要性という意味では、100年前も現在でも紙という媒体に記録された書物の価値は不変です。

立正大学図書館はこれからも時代の要請に応じた活動を通してみなさまに「知」を届ける場としての活動を続けていきたいと願っています。



開館当時の図書館外観

立正大学図書館長  
高橋 美由紀



B1



## ● 図書館 Since 2004

閲覧席とパソコン空間が融合された学修空間です。  
館内・館外にグループ学修スペース RiLLCom、8号館古書資料館があり、それぞれ学生や教職員のニーズに合わせた情報資源・サービス・環境を提供しています。

1F



3F



2F



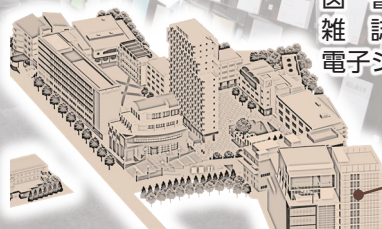
【開館時間】 月曜～金曜 8:30～22:00  
土曜 8:30～21:30

【蔵書冊数】 (2026年3月31日現在)

図 書 695,347冊  
雑 誌 5,756種  
電子ジャーナル 9,647種

B2 閉架書庫  
B3 閉架書庫

11号館  
品川図書館





## ●保存書庫 Since 2005

5号館保存書庫は、学部図書・雑誌、一部図書館本を所蔵しています。保存書庫内の資料を閲覧するには、カウンタースタッフがデリバリー対応で出納します。本学の教職員・大学院生は入庫手続きの上、書庫に入ることができます。

【受 付】11号館 1F 総合カウンター

## ●グループ学修スペース RiLLCom (Rissho University Library Learning Commons)

図書館資料を利用したグループでの学修、ノートパソコンやプロジェクタを使っ  
てのプレゼンテーションの発表練習や AV 資料の視聴、データベースを活用した  
資料作成など、複数人での学修に利用できます。

【受 付】11号館 2F PC サポートカウンター

【利用時間】月曜～金曜（通常期） 9:00～20:50

月曜～金曜（休業期間） 10:30～18:00



RiLLCom A～C



RiLLCom D



RiLLCom E



RiLLCom F



RiLLCom I

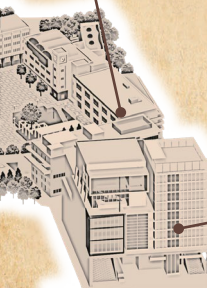


RiLLCom H

| 室名  | フロア | 利用人数    | 仕様           |
|-----|-----|---------|--------------|
| A～C | B 1 | 2～4名    | プロジェクター      |
| D   | 2 F | 5～13名   | デスクトップ端末     |
| E   | 4 F | 16席程度   | 飲食可          |
| F   | 5 F | 30席程度   | デスクトップ端末／複合機 |
| H   | 7 F | 2～30名程度 | プロジェクター      |
| I   | 1 F | 2～10名   | プロジェクター      |

5号館 B1  
保存書庫

11号館  
RiLLCom





## 古書資料館



### ● 古書資料館 *Since 2014*

江戸時代の和古書を中心に、貴重書、特殊資料（卷子本・折本・函物等）、洋古書を所蔵する、古書の専門図書館です。蔵書の約8割を開架で提供しています。古い資料のため、一般資料とは異なる利用上の取り決めがありますが、開架室の古書は、利用者の皆様が直接書棚から取り出し、閲覧することができます。

#### 【蔵書冊数】（2026年3月31日現在）

和漢古書／和書

約9,000タイトル 43,000冊

洋古書

約200タイトル 250冊

#### 【開館時間】

月曜～土曜 10:00～17:00

#### 【受付】

カウンター 10:30～16:30

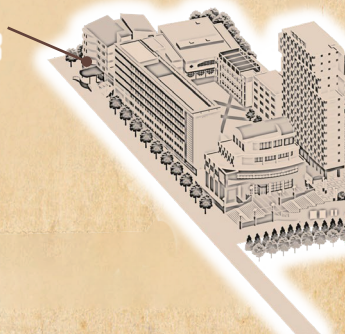
基本的な利用サービス、案内などを行います。

利用支援 13:15～16:45

専門員やライブラリアンが古書資料の調査についてサポートします。



8号館B1  
古書資料館



# 立正大学 品川キャンパス Access Map



## 【所在地／連絡先】

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16  
TEL:03-3492-6615 FAX:03-5487-3349  
MAIL:olib@ris.ac.jp  
URL:<https://www.ris.ac.jp/library/>

## 【アクセス方法】

大崎駅、五反田駅から徒歩5分  
大崎広小路駅から徒歩1分



100周年記念  
特設サイト

こちらへスム



立正大学図書館開館100周年を記念して、関連イベントを開催します。  
学部生・大学院生、書店、図書館職員による協働の体験型企画です。  
開催日程や参加方法の詳細は、当館ホームページにてご覧ください。



## りぶたま・りぶおる×書店連携企画

### りぶたま&りぶおるの出張本屋さん「知の森書店」

日程：2026年11月10日～11月12日

会場：13号館1F 1311教室

立正大学図書館の学生アルバイトりぶたまと院生アルバイトりぶおるが書店と連携し、3日間限定で「知の森書店」を開店します。会場内に並ぶ約1,500冊の見本図書を自由に手に取ることができ、図書館に入れてほしい図書を選ぶことができます。

## 和綴じ講座

### 「和綴じに挑戦！あなただけの自由帖をつくろう」

日程：2026年10月頃（予定）

会場：8号館B1 古書資料館（予定）

立正大学図書館職員による和綴じのワークショップを開催します。和本の仕組みを学び、四つ目綴じなどに挑戦します。古書の世界に触れてみてはいかがでしょうか。

## くずし字講座

### 「読んでみたい な かなの世界 くずし字×クロスワード」

日程：2027年3月頃（予定）

会場：8号館B1 古書資料館（予定）

立正大学古書資料館専門員によるくずし字セミナーを開催します。これまで所蔵資料『奈良絵本 竹取物語』や『徒然草』などを題材資料として、くずし字を読み解く体験を行ってきました。資料を読み解く楽しさを味わってみてはいかがでしょうか。



## 8号館

## B1 古書資料館

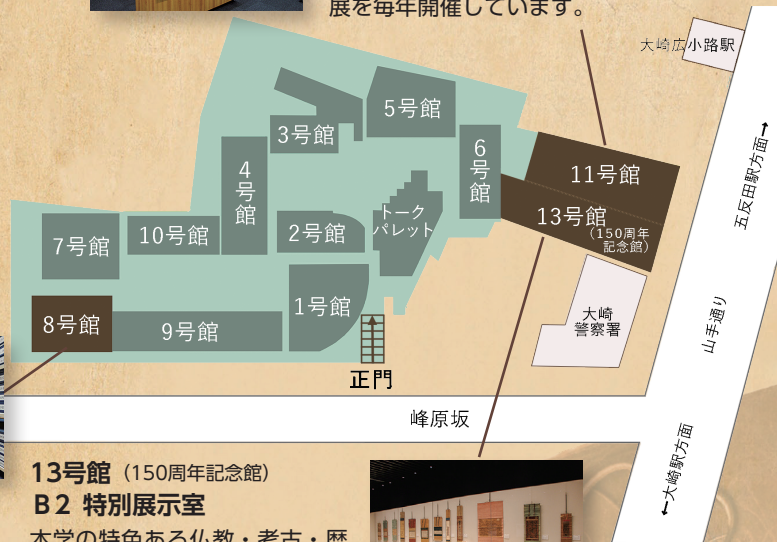
江戸時代の和古書、貴重書、特殊資料（卷子本・折本・函物等）、洋古書を紹介する常設展や企画展を開催しています。



## 11号館

## 1F 展示コーナー

貴重書や善本と呼ばれる、希少性の高い資料を紹介する貴重書展や企画展を毎年開催しています。



## 13号館 (150周年記念館)

## B2 特別展示室

本学の特徴ある仏教・考古・歴史に関する多彩な資料の常設展、日々の研究成果の公表としての企画展を開催しています。



峰原坂



## 貴重資料を見ながらスタンプを集めよう！

各展示会場に設置してあるスタンプを展示チラシ（裏面）に押してください。すべての会場のスタンプを集めた方には素敵なプレゼントを差し上げます。特別展の第1回から第3回まで各回すべての会場のスタンプを集めた方には、さらに Special プレゼントを贈呈！ ぜひご参加ください！

※プレゼントは8号館または11号館1Fカウンターでお渡しします。



## 第3回特別展

## 『書物學』刊行記念

— 未来へ繋ぐ100年の歴史 —

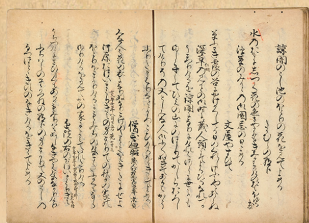
会期1：2026年12月10日～2027年1月27日

会期2：2027年2月18日～2027年4月8日

会期3：2027年4月22日～2027年5月24日

2026年12月に『書物學』（勉誠社発行）にて、立正大学図書館開館100周年記念特集号を刊行する運びとなりました。蔵書から見える立正大学図書館100年史を紹介します。

特別展では、開催期間中、各会場で定期的に資料の入れ替えを行い、『書物學』の各章・各項に掲載した資料を全て展示します。『書物學』と展示を通じて、立正大学図書館に受け継がれる蔵書の特色と魅力をご覧いただければ幸いです。



古今和歌集



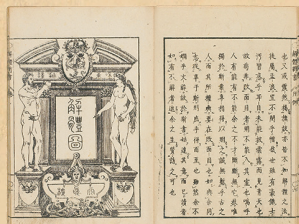
竹取物語



源氏物語



グーテンベルク42行聖書〔零葉〕



解体新書



〔大織冠〕（奈良絵本）

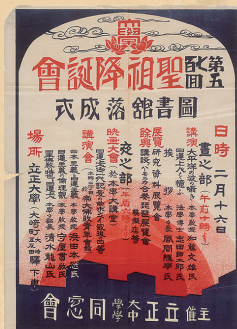
期間：2026年10月1日～11月12日

## 第2回特別展

## 立正大学図書館100年の歩み

一年表と資料で振り返る

立正大学図書館は100年の歴史の中で様々な取り組みを行ってきました。開館からこれまでの歩みを年表形式で公開、これまでの展示ポスターのパネル展示、日々の図書館業務で使用してきた目録カードや蔵書を記録・管理する図書原簿、その他、図書館の業務や活動に欠かすことのできない品々を展示いたします。立正大学図書館の活動に触れる機会となりましたら幸いです。







## 第1回特別展

100年前の図書館開館記念展を振り返る

## 山上、泉と錦絵

Yamagami Chusen and Nishiki-e

蔵していた珠玉の錦絵コレクション（珠廬舎、泉文庫）でした。このたび、奇跡的な巡り合わせにより、長年守り伝えられてきた錦絵を再び展示することが叶いました。100年前に思いを馳せながら、ご鑑賞いただければ幸いです。

ちょうど100年前の1926年、当館の開館を祝して開催された記念展において、来場者の目を楽しめたのは山上、泉が所



## 【資料の寄贈】

ご子孫の方々より、泉文庫の錦絵類をご寄贈いただきました。寄贈先として立正大学図書館が選ばれた背景には、実践女子大学図書館長の推薦や、立正大学がかつて、泉の勤務校であったことなどがあげられます。

## 【教育者としての経歴】

ゝ泉は1919年に日蓮宗宗務院臨時詰を命じられます。同年には、日蓮宗大学の学監だった望月日謙（1865～1943）の推挙により、日蓮宗大学中学部の講師となりました。以降、ゝ泉は教育者（研究者）としての道を歩み始めます。なお、望月日謙は日蓮宗宗務總監（大正5年）、立正大学学長（昭和6年）、身延山久遠寺83世（昭和6年）などを歴任した人物として知られています。



高祖御一代略図  
（建治三年九月身延山七面神示現）



江戸自慢三十六興  
（池上本門寺会式）



（山上、泉草稿）



（山上、泉葉書）

## 『書物學 = Bibliology』

『書物學』は、現在・過去・未来にわたる書物論議を展開する場として勉強社より創刊されました。その『書物學』より、立正大学図書館開館100周年を記念した特集号を刊行します。立正大学図書館の収蔵書である貴重資料や特色ある文庫を惜しみなく紹介します。これまでの立正大学図書館と古書資料館における取り組みについて、皆様に知っていただく機会となりましたら幸いです。

(2026年12月刊行予定)

## 『シリーズ・アタラクシア』 Vol.7 / Vol.8

前身である『立正大学図書館報 アタラクシア』は戦後間もない1949年に創刊されました。立正大学図書館の資料から視えてくる普遍の価値を伝えるため、『シリーズ・アタラクシア』はVol.1が2013年に発刊されました。Vol.7 / Vol.8は、立正大学古書資料館蔵『新出琉歌集』について、本学文学部名誉教授 島村幸一先生執筆による上巻・下巻として刊行します。

(2027年3月刊行予定)



## 『シリーズ・アタラクシア』 Vol.1～Vol.6

これまでに刊行された『シリーズ・アタラクシア』は、立正大学学術機関リポジトリにて本文を開覧することができます。

